

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: pH 指示薬 PR AT000790
会社名	: 株式会社東洋製作所
住所	: 千葉県柏市高田 1335
担当部署	: 柏工場 品質管理課
電話番号	: 04-7143-2003
FAX 番号	: 04-7143-0684
緊急連絡電話番号	: 上記担当部署
推奨用途及び使用上の制限	: pH 比色測定



2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	: 区分外。
健康に対する有害性	: 区分外。
環境に対する有害性	: 区分外。
ラベル要素	: 該当なし。

3. 組成、成分情報

单一物質・混合物の区分物質	: 混合物
成分及び含有量	: フェノールレッド 0.04wt% エタノール 0.79wt% 水 99.16wt% その他 0.01wt%
化学式または構造式	: フェノールレッド <chem>C19H14O5S</chem> エタノール <chem>C2H6O</chem>
CAS 番号	: フェノールレッド 143-74-8 エタノール 64-17-5
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	: フェノールレッド 化: 4-271 エタノール 安: - 化: 2-202 安: -

4. 応急措置

吸入した場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合は医師の診断／手当を受けること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 必要に応じて医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	: 口を水ですすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 周辺火災の状況に応じて適切な消火剤を用いる。
特有の消火方法	: 関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護

：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法・機材

二次災害の防止策

：関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

：上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

：不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

：漏出物を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

：煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

使用後、容器を密栓すること。

注意事項

：皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱い注意事項

：屋外または換気の良い場所で使用すること。

保護マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用すること。

取扱中は、飲食、喫煙してはならない。

保管

適切な保管条件

：容器は密栓して冷暗所に保管すること。

安全な容器包装材料

：ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

：データなし。

許容濃度

：1000 ppm (エタノール)

ACGIH (2008) STEL

：適切な換気のある場所で取扱う。

設備対策

保護具

呼吸器の保護具

：保護マスク。

手の保護具

：保護手袋。

眼の保護具

：保護眼鏡。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など

：橙色の液体。

臭い

：無臭。

pH

：7.6。

融点・凝固点

：データなし。

沸点、初留点と沸騰範囲

：データなし。

引火点

：データなし。

爆発範囲

：データなし。

蒸気圧

：データなし。

蒸気密度（空気=1）

：データなし。

比重（密度）

：データなし。

溶解度

：水に可溶。

オクタノール / 水分配係数

：データなし。

自然発火温度

：データなし。

分解温度

：データなし。

臭いの閾値

：データなし。

蒸発速度（酢酸ブチル=1）

：データなし。

燃焼性（固体、ガス）

：該当しない。

粘度

：データなし。

10. 安定性及び反応性

安定性

: 光により変質するおそれがある。

危険有害反応可能性

: 硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応する。(エタノール)

避けるべき条件

: 日光、熱。

混触危険物質

: 強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、アンモニア。(エタノール)
強酸化剤。(フェノールレッド)

危険有害な分解生成物

: 炭素酸化物。(エタノール)

一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物。(フェノールレッド)

10. 安定性及び反応性

安定性

: データなし。

危険有害反応可能性

: 次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。(エタノール)

硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。(エタノール)

避けるべき条件

: 日光、熱。

混触危険物質

: データなし。

危険有害な分解生成物

: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性

: 分類できない。

皮膚腐食性・刺激性

: 分類できない。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

: 区分外。

エタノールとして、以下のデータより区分外である。

[日本公表根拠データ]

ラビット 7 日以内に回復 (ECETOC TR No. 48(2), 1998 et al)

: 分類できない。

: 分類できない。

: 分類できない。

: 区分外。

エタノールとして、以下のデータより区分外である。

[日本公表根拠データ]

ACGIH 7th, 2012 ; IARC, 2010

IARC-Gr. 1 : ヒトに対して発がん性がある。

ACGIH-A3(2008) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明。

: 区分外。

エタノールとして、以下のデータより区分外である。

[日本公表根拠データ]

cat. 1A ; human : PATTY 6th, 2012

: 区分外。

エタノールとして、以下データより区分 3 (気道刺激性) であるが、本製品のエタノール含有量は 20%未満であるため、区分外とした。

[日本公表根拠データ]

気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)

区分外。

エタノールとして、以下データより区分 3 (麻酔作用) であるが、本製品のエタノール含有量は 20%未満であるため、区分外とした。

[日本公表根拠データ]

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

麻醉作用 (PATTY 6th, 2012 ; SIDS, 2005)

：区分外。

エタノールとして、以下データより区分1（肝臓）であるが、本製品のエタノール含有量は1%未満であるため、区分外とした。

[日本公表根拠データ]

肝臓 (DFGOT vol. 12, 1999)

区分外。

エタノールとして、以下データより区分2（中枢神経系）であるが、本製品のエタノール含有量は10%未満であるため、区分外とした。

[日本公表根拠データ]

中枢神経系 (HSDB, Access on June 2013)

：分類できない。

：本製品自体の情報は得られていない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境急性有害性

：区分外。

エタノールとして、以下データより区分外である。

[日本公表根拠データ]

藻類（クロレラ）EC50=1000mg/L /96hr (SIDS, 2005)。

：区分外。

エタノールとして、以下データより区分外である。

[日本公表根拠データ]

甲殻類（ニセネコゼミジンコ属）NOEC=9.6mg/L/10days
(SIDS, 2005)。

：混和する。

：エタノールとして、急速分解性がある (BODによる分解度：89%
(既存点検, 1993))。

：エタノールとして、Log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)。

：データなし。

：データなし。

：本製品自体のデータは得られていない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは
地方自治公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託
して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分
告知の上処理を委託する。：容器は清浄にして関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適
切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

陸上規制情報

：該当なし。

海上規制情報

：該当なし。

航空規制情報

：該当なし。

国内規制

陸上規制情報	: 該当なし。
海上規制情報	: 該当なし。
航空規制情報	: 該当なし。
国連分類	: 該当なし。
国連番号	: 該当なし。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認し、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令 : 該当なし。

16. その他の情報

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害等に関して、保証をするものではありません。

また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、安全性を確認してからご利用ください。
